

# もっと知りたい伝えたい 三原のステキ

## ～だるま編～

育成をめざす資質・能力：主体性 協働性 探究力 論理的思考力・表現力 知識・技能

### 1 単元について

#### 地域や学校の特色と教師の願い

三原市には、様々な祭りがあり、地域の人々に親しまれてきている。中でも、日本一の大だるまを名物として行う「三原神明市」は、三原四大祭りの一つである。「三原だるま」は、江戸時代末頃から作られ始め、戦後には途絶えてしまったが、元三原小学校校長の久保等氏の手によって、復活を果たし、三原の名産品になっている。本校でも、例年第3学年児童が神明市でだるま行列へ参加しており神明市を盛り上げてきた。今年2月は、コロナ禍により、エキマエ神明市として規模を縮小した形で行われた。

本単元では、三原のステキをテーマに自分たちの身近には、これまで守られてきたたくさんの文化や名産品があることに気付かせたい。その中で、神明市や三原だるまのことを知り、地域の人々が守り繋いできたものを自分たちも守っていききたいという思いを抱き、地域を大切に思う心や伝統を繋いでいきたいという気持ちを育みたい。

#### 児童の実態

本学級の児童は、2年生の時に、生活科の学習で町探検を行う中で、自分と身近な人々との関わりがあることや、地域の公共施設等が自分の生活に深く関わっていることに気付くことができた。3年生になってからは、三原のステキを見つけていく活動を行う中で、三原の食べ物や歴史的建造物について調べ、ミニポスターにまとめたり見学に行ったりすることで、探究する楽しさを実感することができた。2学期は、三原だるまについての探究を深めているが、コロナ禍以前の神明市を知っている児童は少ない。

7月のアンケート調査では、主体性の「自分で課題を選んだり、決めたりしている」の項目で肯定的回答を示した割合が84.6%で、他の項目よりやや低かった。4月のアンケートと比較して、否定的な回答を示した割合が4.7%増加したことから、課題を自己決定していると認識している児童の割合が低くなりつつあることが分かる。

#### 学習の題材

本題材では、前年度の3年生が残した動画での成果物「だるまチャンネル」をきっかけに、三原だるまへの興味関心を高め、仮の探究課題「三原だるまのステキをたくさん知ろう！」を設定する。探究を進める中で、インターネットや本で調べるだけでは三原だるまについて分からないことが多くあることから、青山コレクション達磨記念堂や三原市歴史民俗資料館を見学したり、三原だるまの面相描きを経験したりする。これらの活動を通して、三原だるまを大切にしてきた地域の方々の思いを知り、三原の名産品となった三原だるまへの愛着を深めていく。また、調べていく中で、三原だるまと神明市に関わりがあることを知り、三原小の3年生が例年参加してきた神明市のだるま行列にも興味をもたせる。そして、これまで3年間中止や規模の縮小を余儀なくされてきた神明市が、今年度は以前のように復活することから、自分たちが知った三原だるまや神明市について地域の方や近隣の市町の方々等、大勢の人に知ってもらいたいという思いをもち、真の探究課題「三原だるま・神明市のステキを伝えよう！」を設定する。このような課題解決の過程の中で、だるまや神明市などの地域のよさを伝える施設や地域の方々と関わることを通して、目的や意図に応じて情報を収集、整理し、調べたことをどのように発信するかを論理的に考えたり、自分の考えを主体的に表現したりする力を高めることができる題材と言える。

#### 単元の目標

三原だるまをはじめとした三原の名産品や伝統を繋いでいくための取組を通して、地域のよさやそれを支える人々の願いや努力を理解し、自分達には何ができるかを考え、地域に親しみや愛着をもって貢献していこうとすることができるようにする。

## 2 「見方・考え方」を働かせ、深く学び合う指導の手立て

### (1) 総合的な学習の時間における「見方・考え方」を働かせる手立て

#### ○広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉えるために

三原観光協会や三原だるま保存育成会の方に話を聞いたり、青山コレクション達磨記念堂を見学したりして歴史や伝統、現状の様子などについて調べ、神明市や三原だるまの魅力や価値を多角的に捉えられるようにする。

#### ○実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるために

コロナ禍で神明市が3年間通常実施できなかったことにより、子どもたちやその家族も、神明市や三原だるまについて詳しく知らなかったり、覚えていないことが多くあったりする。今年度、神明市が規模を戻して復活することを受け、三原市民が大切にしている神明市や三原だるまを多くの人に知ってもらうために、今の自分たちができることを考えることで、自己の生き方につなげていく。

### (2) カリキュラムマネジメントを通して、各教科等における「見方・考え方」を総合的に働かせる手立て

#### ○国語科…「メモを取りながら話を聞こう」

話し手が伝えたいことを中心に捉えるために、話の組み立てを意識して、必要なことを意識しながら聞く学習を生かして、地域の商店の方や三原観光協会の方等にインタビューする際に、大事なことをメモに残しながら落とさず聞くことができるようにする。

#### ○社会科…「わたしたちのまち みんなのまち」「市のようすとうつりかわり」

社会科の学習で、市の様子や移り変わりについて、交通や公共施設等の時期による違いに着目して、年表等にまとめることで、人々の生活の様子は時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解できるようにする。この学習を生かして、三原市の人が大切にしてきた神明市や三原だるまの歴史を調べ、まとめていくことで、三原市の伝統や文化、それを支えてきた先人たちの知恵に気付かせていく。

### (3) 学習ツールの活用

#### ○ICT機器

本学級の児童は、ICT 機器を使用して学習することを好んでいる。しかし、スムーズにローマ字入力することが難しい児童が多い。効果的に ICT 機器を使用するために、不自由なく操作できる技能を身に付けさせていく。本単元の ICT 機器の活用計画は次の通りである。

- ・課題の設定…知りたいことや調べたいことを確認するため、画像やスライドで共有する。
- ・情報の収集…知りたいことを課題解決するために、検索機能を活用する。また、校外学習が難しい場合に、ミートを活用して出前講座を行う。
- ・整理・分析…多くの情報を焦点化したり、整理したり、友達と意見交流をするためにジャムボードを活用する。
- ・まとめ・表現…必要に応じて、成果をまとめる際に画像を活用する。

#### ○思考ツール

本学級の児童は、総合的な学習の時間、特別の教科道徳、国語科の学習の中で思考ツールを活用している。教師と共に、思考ツールの目的や使い方を確認しながら、活用することで、思考ツールを使うよさを感じ始めているところである。本単元では、次の場面で思考ツールを活用する。

- ・学んだ内容を分類する場面…Xチャート
- ・自分の意見を焦点化・構造化する場面…ピラミッドチャート、座標軸
- ・成果物を評価する場面…PMI シート

### 3 単元の評価

#### (1) 内容のまとめりごとの評価規準

※太枠は本校で重点的に育成を図る資質・能力

評価の観点		学習活動（小単元）における評価規準	
知識・技能	知識	郷土に伝わる名産品や伝統的行事等に関する知識を身に付けている。	
	技能	探究の過程における課題解決の技能を習得し、日常の様々な場面で活用している。	
	探究的な学習のよさの理解	学習と生活のつながりを意識し、学習を振り返ることで、探究的な学習のよさを理解している。	
思考・判断・表現	「課題の設定」	探究力	郷土に伝わる特産品や伝統的行事等を取り巻く状況の中からよさや問題点から問いをもち、課題を設定している。
	「情報の収集」		本やインターネット等を活用し、必要な情報を多様な方法で収集する中で、問いを解決している。
	「整理・分析」	論理的思考力・表現力	目的に合う方法で思考し、情報の共通点や相違点を見つけている。 情報や事象を比較したり関連付けたりして、意見を主張する際に、確かな理由を表現している。 相手や目的に応じて、情報を精査している。
	「まとめ・表現」		相手や目的に応じて、効果的な表現をしている。
主体的に学習に取り組む態度	自己理解・他者理解		活動の中で、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 異なる意見や他者の考えを受け入れようとしている。
	主体性・協働性	主体性	自分で課題を決めて、課題を解決しようとしている。
		協働性	自分にできることを見つけて行動しようとしている。
	将来展望・社会参画		実社会、実生活の課題解決に取り組む中で、積極的に社会に関わり、自己の生き方を考え、自らの生活や行動に生かそうとしている。

#### (2) 単元の評価基準（本校で育成を図る資質・能力のルーブリック）

知識・技能および 資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
主体的に学習に取り組む態度	【主体性】 自分で決めて行動する力	三原だるまや神明市について調べたり、情報をまとめたりする際に、自分で課題を決めて、課題を解決しようとしている。	三原だるまや神明市について調べたり、情報をまとめたりする際に、自分で課題を決めて、目的に合う方法で課題を解決しようとしている。
	【協働性】 みんなと協力する力	グループで活動する際に、活動の目的を考えて行動しようとしている。	グループで活動する際に、友達の意見を聞いて、助け合いながら行動しようとしている。
思考・判断・表現	【探究力】 問い続ける力	三原だるまや神明市に関わる問いを見つけて、その答えを考えている。	三原だるまや神明市に関わる問いを見つけ、答えを予想したり調べたりしている。また、問いを更新している。
	【論理的思考力・表現力】 筋道立てて考え、豊かに表現する力	意見を交流したり、発表したりする際に、自分の考えと理由を表現している。	意見を交流したり、発表したりする際に、相手意識をもって自分の考えと理由を分かりやすく表現している。
知識・技能		三原だるまや神明市に関する知識やICT機器、思考ツールを活用する技能を身に付けている。	身に付けた知識・技能を学習や生活の中で活用している。

4 指導計画 (全 46 時間 本時 16/46) ♥ : 三原だるまプラン「ショックー発型」

	探究の過程 資質・能力	学習活動	評価方法
テーマ決定・仮の探究課題の設定・探究	課題の設定 主 論 探 情報の収集 整理・分析 協 主 論 知 協 主 自 まとめ・表現	○ 1学期の活動を振り返り、2学期からの活動内容を確認する。(1) ○ 子どもルーブリックのA評価について話し合い、2学期につけたい資質能力を確認する。(1) ○ 三原だるまについての疑問をインターネットや本等で調べる。(1) ○ 探究課題を達成するために必要なことを書き出し、計画を立てる。(1) ○ だるま堂を見学し、全国に様々なだるまがあることを知る。(1) ○ 全国のだるまから三原だるまに焦点化し、さらに詳しく三原だるまについて調べる計画を立てる。(1) ○ 探究課題を設定する。(1) 仮の探究課題：三原だるまのステキをたくさん知ろう！ ○ 三原市歴史民俗資料館をリモートで見学し、学んだことをまとめる。(2)【自己評価】 ○ 三原だるまの面相描きを体験する。(1) ○ 体験を通して知ったことや学んだことをまとめる。(1)	・ノート ・ノート ・質問シート ・行動観察 ・感想文
真の探究課題の設定・探究	情報の収集 整理・分析 主 論 探 課題の設定 情報の収集 整理・分析 協 主 論 知 まとめ・表現 論 協 自	○ これまでお世話になった方々は、3年ぶりの本格開催である神明市を楽しみにしていることを知る。(1) ♥ 三原だるまや神明市のステキをもっと多くの人に知ってほしい！ 真の探究課題：三原だるま・神明市のステキを伝えよう！ ○ 探究課題を達成するためにどんな活動を進めるかを考える。(1) ○ 活動内容や発信相手、発信方法を決める。(1) ○ 三原だるまについてパンフレットで伝えたい内容を4つの視点に分ける。(1) ○ パンフレットで伝えたい具体的な内容を決める。(1) 本時 ○ 神明市についてまとめるために足りない情報がないか考え、調べる。(2) ○ 神明市協賛会の方々のお話を聞く。(2) ○ 学んだことをまとめる。(1) ○ 神明市についてパンフレットで伝えたい内容を4つの視点に分ける。(1) ○ 神明市についてパンフレットで伝えたい具体的な内容を決める。(1) ○ 「三原のステキ」を伝えるパンフレットを作成する(6) ○ 仕上がったパンフレットを交流して、改善する。(5)【相互評価】 ○ お世話になったお店や三原市歴史民俗資料館にパンフレットを届ける。(2) ○ 張り子の面相描きを体験する。(2) ○ 神明市のだるま行列に参加する。(2)	・OPPA ・感想文 ・ノート ・ピラミッドチャート ・座標軸 ・質問シート ・ピラミッドチャート ・座標軸 ・PMIシート ・パンフレット
活動のまとめ・評価	まとめ・表現 協 主 論 理 将	○ 届いた感想を読む。(1)【外部評価】 ○ 活動について振り返る。(1)【自己評価】 ○ ルーブリックを修正し、来年度に引き継ぐ準備をする。(1) ○ 本単元の学習を振り返る。(1) ○ 自己の成長について発表し合う。(1)【相互評価】 ○ 来年度の活動について、興味関心を話し合う。(1)	・ノート ・感想文 ・OPPA

5 本時の学習

(1) 本時の目標

三原だるまの情報の中から重要度に着目して、地域や近隣の市町の人々に伝えたい内容を選ぶことができる。

(2) 本校で育成を図る資質・能力の評価基準（論理的思考力・表現力のルーブリック）★

B：選んだ情報の重要度に着目し、理由を書いている。

A：相手意識をもって、選んだ情報の重要度に着目し、理由を書いている。

(3) 本時の展開

	学習活動	○指導・支援 ★評価（評価方法）
導入          5分	<p>1 前時の学習内容を確認する。</p> <p>・パンフレットに載せる内容を仲間分けした。 ・内容がたくさんあるから絞りたい。 ・伝える相手のことを考えて絞りたい。</p> <p>2 本時の問い、課題、探究の過程、本時で育成をめざす資質・能力を確認する。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">問い：パンフレットに載せたらよい内容は？</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">課題：二つの視点から、読む人にとって大切なことを選ぼう。</p> <p>・整理・分析 ・論理的思考力・表現力</p>	<p>○ 多くの情報を二つの視点で整理するには、座標軸を使うとよいことを確認する。</p> <p>○ 縦軸「見たり聞いたりしないと分からないこと・調べれば分かること」横軸「パンフレットに向いていること・動画や音声に向いていること」の項目で整理する。</p> <p>○ 児童から引き出した問いから、本時の課題を設定し、探究の過程、資質・能力を確認し、ふり返りの視点を示しておく。</p>
展開①    5分	<p>3 座標軸を活用し、伝えたいことを個人で考える。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">座標軸を使って、伝えたい内容を決めましょう。</p> <p>・特徴のことは調べたらすぐ分かったから、パンフレットには向いているけど調べれば分かるな。 ・三原だるまを大切にしていきたいという思いは、聞いて初めて分かったので、パンフレットに載せるといいと思うな。</p>	<p>○ 縦軸を考えてから横軸に移るなど、思考する順序を指導することで、2つの視点で考えられるようにする。</p> <p>○ 前時にパンフレットに載せる内容を4つ（青：歴史、ピンク：現在、黄緑：特徴、黄色：思い）に分類し、ジャムボードの付箋の色を分けておくことで、バランスよく伝える内容を選ぶことができるようにする。</p>
展開②    10分	<p>4 分類した座標軸をグループで交流し、自分達が伝えたいことを検討する。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">どうしてそれを伝えたいと思ったのか、座標軸を見ながら説明し合い、班で1つの座標軸を作りましょう。</p> <p>・三原だるまを20年後30年後にも伝えていってほしいという思いは、聞いてみて初めて分かったことだったから、伝えたいと思いました。 ・実際に作ったり買ったりしてこそ三原だるまの良さが伝わるから地図に載せて、作れる場所や買える場所を伝えたいと思いました。 ・三原だるまの特徴は、本やインターネットで調べたときにすぐに出てくる情報だけど、初めて見る人には一番知ってほしいし、パンフレットに載せるのにも向いていると思うから迷っています。</p>	<p>○ 「～だから・・・を伝えたいと思った。」 「～だから・・・で迷っている。」など考えの理由を述べさせることで、座標軸をもとにして児童同士で語れるようにする。</p> <p>○ 友達の意見を聞いて個人の考えから思いが変わった児童は、個人思考した付箋のまわりを線で囲むことで、思考の変容が見とれるようにする。</p> <p>○ 同じ色の付箋が固まりすぎている場合は、相手意識に立ち返らせ、同じ色の仲間の情報以外にも目を向け、読み手が様々な側面から三原だるまのステキを見つけられるようにとアドバイスをする。</p>

<p>15分</p>	<p>5 グループで検討した、自分達が伝えたいことを全体で交流する。</p> <p>伝えたいことを交流し、3年1組で三原だるまについて伝えたいことを決めましょう。</p> <p>T 三原だるまに関わる人たちの思いが上に来ている班が多いようですが、それを伝えたいと思った班の人たちは、どうして選んだのですか。</p> <p>C 歴史博物館の方も、面相がきを教えてくれた先生方も、三原だるまを20年30年先にも伝えてほしいと思っていたことは、話を聞いて初めて知ったことだし、パンフレットに載せるのにも向いていると思ったからです。</p> <p>C 理由は違うけど同じ意見です。動画だと思いを話してもらってもメモでもしないと残らないけど、これは調べても出てこない情報だから、パンフレットに思いを載せたらいいと思います。</p> <p>T 三原だるまが買えることを選んだのはどうしてですか。理由を教えてください。</p> <p>C 実際に三原だるまに触れて、買ってもらったら、もっと好きになってもらえると思うし、どこで買えるか書いておけば欲しい人はいつでも買えるからです。</p>	<p>○ 全体交流の場面で、班で検討した伝えたいことを教師がファシリテートして引き出すことで、学級で意見を絞っていく。</p> <p>必要に応じて、教師が学び合いをファシリテートする。</p> <p><b>【意見を引き出すファシリテーション】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ意見で違う理由の班はありますか。</li> <li>・理由は似ているけど、意見が違う班はありますか。</li> <li>・○班では、元々・・・を一番伝えたいと考えていた人がいましたが、班の意見では変わっていましたね。どんな意見に納得したのですか。</li> </ul> <p><b>【整理し、まとめるファシリテーション】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・座標軸を見直してみましょう。</li> <li>・どの班も○○の意見が右上にあるので、みんなが伝えたいということですね。</li> <li>・○○の意見と○○の意見は、班によって考えが違うので、パンフレットに載せるかどうか次回改めて考えましょう。</li> </ul>
<p>10分</p>	<p>6 学習したことをまとめる。</p> <p>自分が大切だと思った内容についてまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は「④（関わる人々の思い）」が大切だと思いました。理由は、インターネットや本で調べても分からないことだし、パンフレットに載せると文字で伝えられるからです。</li> <li>・ぼくは「①（三原だるまの歴史）」が大切だと思ったけど、みんなの意見を聞いて「②（三原だるまの現在）」が大切だと思いました。理由は、三原だるまの面相描きを体験したり、実際に買ったりすることができるのでだるまをもっと好きになってもらえると思うし、そういう場所を地図にすれば気になり行ってみようと思うからです。</li> </ul> <p>今日の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は、理由を詳しく書けたので論理的思考力・表現力の力がつきました。</li> <li>・今日は、パンフレットを手に取る人のことを考えて理由が書けたので、論理的思考力・表現力の力がのびました。</li> </ul>	<p>○ 座標軸の項目を色ごとにナンバリングし、まとめやすいようにする。</p> <p>○ 「私は、～が大切だと思いました。○○さんの意見を聞いて、もっと～が大切だと思いました。理由は、～からです。」「私は、～が大切だと思っていたけれど、○○さんの意見を聞いて～が大切だと思いました。理由は、～からです。」という例文を提示することで、振り返りを書きやすくする。</p> <p>★ 本校で育成をめざす資質・能力の評価（ノート記述）</p> <p>○ 本時で身に付いた資質・能力について振り返りが書けるよう、視点を提示する。</p>

(4) 板書計画

もっと知りたい伝えたい 三原のステキ

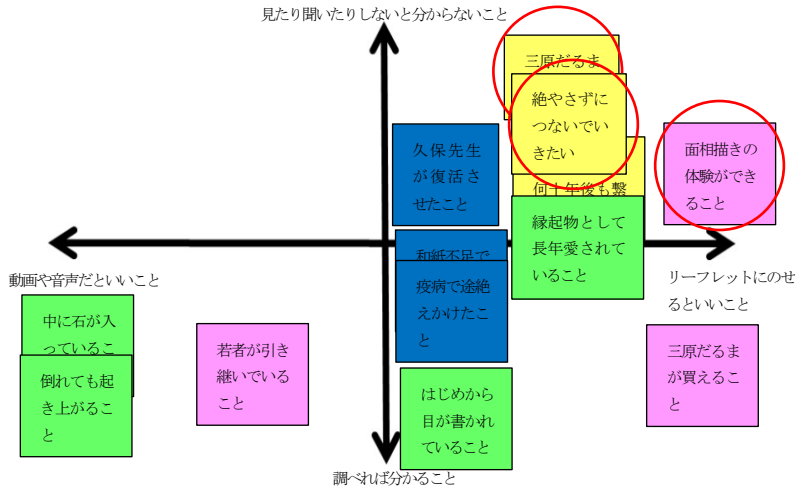
10/25 整理・分析 論理的思考力・表現力

- A 読む人のことを考える
- B じゅうよう度→理由

①? パンフレットに載せたらよい内容は?

②課 二つの視点から、読む人にとって大切なことを選ぼう。

③ わたしは、「 」が大切だと思いました。〇〇さんの意見を聞いて、もっと～が大切だと思いました。理由は、～からです。



①れきし いろんなことをのりこえて今に伝わっている  
調べたら分かる  
きょうみをもってもらえるから分からない

②げんざい 実際こさわるきつけ  
買える場所を地図にすれはいつでも見れる  
調べたら分かりそう

③とくちょう 知らない人には写真で解説があるといい  
調べたら分かるし紙より動画の方がよい

④思い 調べても出てこない  
みんな大切にしていきたいと思っていた

★本時で意識した資質・能力

- ・～したら、～することができました。
- ・～する力がのびました。